

【目的】

沖縄と本土における2型糖尿病(DM)患者の臨床像を比較した。

【対象及び方法】

沖縄県内にある翔南病院および島尻キンザー前クリニックの外来患者219名と、大阪府南部にある府中病院外来患者510名を用いた。透析患者、GAD抗体陽性患者は除外し、経口ブドウ糖負荷試験にて糖尿病型を示した患者は含めた。

【成績】

沖縄は本土と比較し肥満者(70.9±14.0 kg Vs. 62.2±11.6 kg、 $p<0.001$)が多かった。発症年齢は両群間に有意な差はみられなかった(52.3±11.9歳 Vs. 52.6±12.6歳、NS)。既往最大体重(78.5±16.4 kg Vs. 69.9±13.1 kg、 $p<0.001$)、既往最大BMI(30.0±5.1 kg/m² Vs. 27.6±4.7 kg/m²、 $p<0.001$)は沖縄において有意に高かったが、その時の年齢は両群とも同等(49.1±12.7歳 Vs. 48.3±14.7歳、NS)であった。

【結語】

沖縄と本土を比較すると、最大体重に至った年齢、DM発症年齢は同等だが、沖縄は最大体重が高かった。両方の共通点とし、DM発症に既往最大体重(肥満)が先行していた。

背景 / 目的

2型糖尿病の発症には遺伝と環境因子が関与している。沖縄は、食事環境が原因と考えられる肥満人口が多く、それが沖縄県における男性平均寿命の低下原因の一つと考えられている。また、このことは日本本土の糖尿病発症形式にも示唆を与えるものと考えられる。

今回筆者らは沖縄と本土における2型糖尿病(DM)外来患者の臨床像を比較し、その特徴を考察することができたので報告する。

③

対象と方法

・沖繩中部・浦添地区(翔南病院、島尻キンザー前クリニック)

外来通院中2型糖尿病患者 219名

(2008年7月から2011年4月まで)

・大阪南部地区(府中病院)外来通院中2型糖尿病患者 510名

(2005年4月から2008年6月まで)

GAD陽性患者、透析患者は除き、経口糖負荷試験で糖尿病型を呈した患者は含めた。

データは平均±標準偏差で示し、統計はスチューデントのt検定と χ^2 二乗検定を用いた。統計学的有意差は $P < 0.05$ とした。

Comparison of type 2 diabetes between Okinawa and Osaka



大阪南部地区
DM患者 510名
(2005年4月から
2008年6月まで)

沖縄中部・浦添地区
DM患者 219名
(2008年7月から
2011年4月まで)

除外 インスリン治療
透析患者
GAD抗体陽性者

⑤

成績

	沖縄	大阪	有意差
患者数(人)	219	510	
男性／女性	152 / 67	288 / 222	
男性の頻度 (%)	69.4	56.5	P = 0.001
家族歴あり(人)	90	189	
家族歴頻度 (%)	41	37	NS

⑥

	沖縄	大阪	有意差
年齢(歳)	57.1±12.1	61.6±12.4	P < 0.001
発見年齢(歳)	52.3±11.9	52.6±12.6	NS
罹病期間(年)	4.3±5.3	9.6±8.6	P < 0.001
身長(m)	1.61±0.09	1.60±0.09	P=0.03
体重(kg)	70.9±14.0	62.2±11.6	P < 0.001
空腹血糖 (mg/dl)	161.1±73.1	156.1±49.7	NS
A1c (%)	7.6±2.2	7.3±1.6	P=0.047

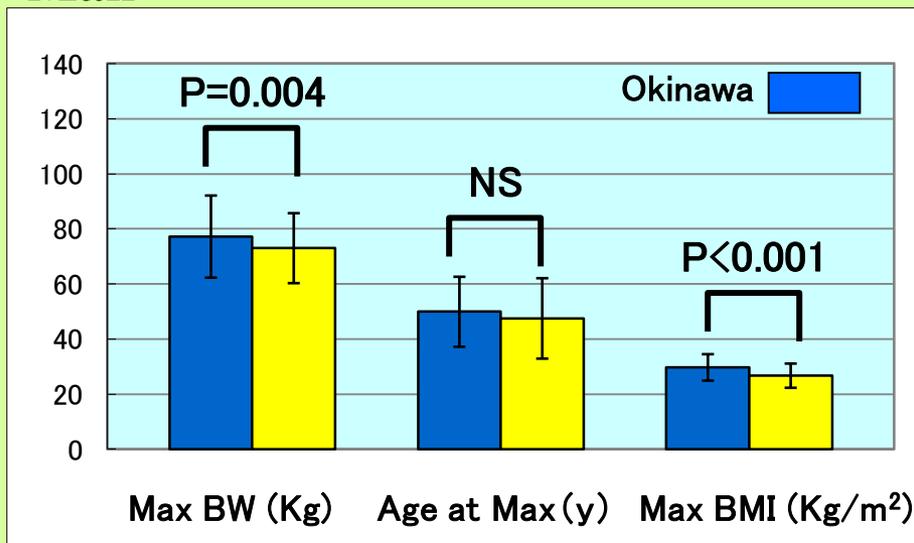
⑦

	沖縄	大阪	有意差
収縮期血圧(mmHg)	133.2 ± 17.2	135.8 ± 17.7	NS
拡張期血圧(mmHg)	79.5 ± 11.0	79.3 ± 10.9	NS
Cr (mg/dl)	0.7 ± 0.2	0.9 ± 0.7	P=0.03
LDL(mg/dl)	122.1 ± 30.4	125.4 ± 32.0	NS
TG(mg/dl)	173.2 ± 154.6	143.3 ± 110.3	P=0.009
HDL(mg/dl)	51.1 ± 12.7	56.2 ± 14.1	NS

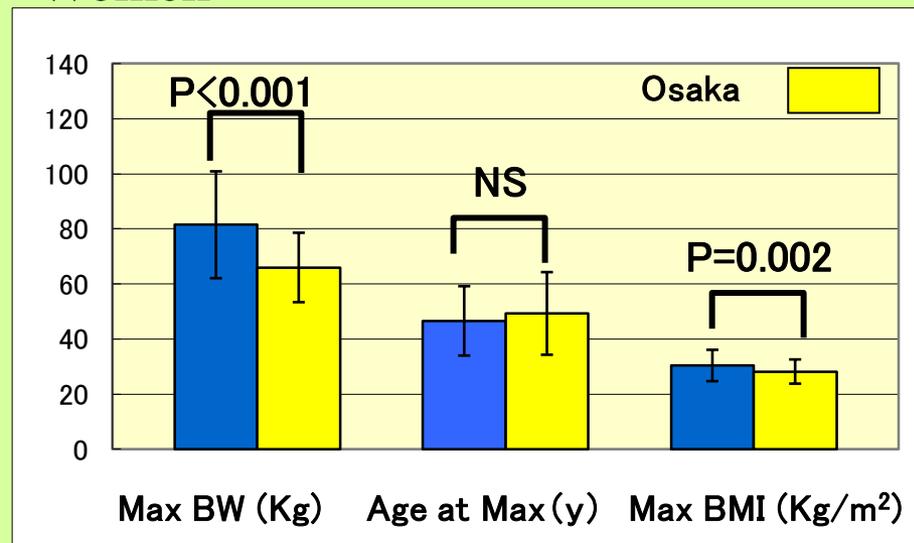
⑧

	沖縄	大阪	有意差
最大体重 (Kg)	78.5 ± 16.4	69.9 ± 13.1	P < 0.001
最大BMI (Kg/m ²)	30.0 ± 5.1	27.6 ± 4.7	P < 0.001
その年齢 (歳)	49.1 ± 12.7	48.3 ± 14.7	NS

Man



Women



⑨

インスリン値について

	沖縄	大阪	有意差
患者数(人)	172	209	
IRI(μ U/ml)	10.1 \pm 7.5	6.6 \pm 5.3	P < 0.001
HOMA-R	3.9 \pm 3.1	2.6 \pm 2.9	P < 0.001
HOMA- β (%)	57.6 \pm 61.7	31.7 \pm 28.6	P < 0.001

まとめ

沖縄地区と大阪地区を比較すると、最大体重に至った年齢、DM発症年齢は同等であっても、沖縄は最大体重(最大BMI)が高いことが示された。

両地区の共通点として、DM発症には既往最大体重(肥満)が先行している可能性がある。